ＴＶｉＸ　取扱説明書

1 特徴 3
1.1 マルチメディアデバイス 3
1.2 USB ストレージ 3
1.3 推奨システム仕様 4

2 注意 5
2.1 安全のために 5
2.2 注意 5

3 各部名称 6
3.1 本体上部 6
3.2 本体背面 6
3.3 本体前面 7
3.4 パッケージ内容物 7

4 接続 8
4.1 ビデオ出力接続 8
4.1.1 通常のTVへの接続 8
4.1.2 S-VIDEO出力での接続 8
4.1.3 色差コンポーネント出力での接続 9
4.2 オーディオ出力接続 10
4.2.1 通常のTV（オーディオ２チャンネル）への接続 10
4.2.2 5.1チャンネルデジタルアンプへの接続 10
4.3 ハードディスクの組み込み 11

5 TViX セットアップメニューの設定 13
5.1 オーディオ/ビデオ設定 13
5.2 その他の設定 14

6 リモコンの使用 15
6.1 リモコンの基本機能 15
6.2 リモコンでの操作 16
6.2.1 ビデオファイルの再生 16
6.2.2 DVDナビゲーション機能 17
6.2.3 プレイリスト機能 17
6.2.4 オーディオファイルの再生 18
6.2.5 イメージファイルの再生 19

7 ファームウェアアップグレード 20

8 PCとのUSB接続 21
8.1 Windows 98SE へのドライバインストール 21
8.2 98SE/MEでのパーティション作成とHDDのフォーマット 24
8.3 Windows 2000 / XPでのパーティション作成とHDDのフォーマット 27
8.4 ハードウェアの取り外し 29

9 トラブルシューティングと質問 30

1 特徴

1.1 マルチメディアデバイス

- 最新 Codec をサポート, DivX 3.11,4.x,5.x, Xvid , MPEG4 ファイルの再生が可能です。
- 本体にある9つのボタンによりリモコン無しでもファイルやメニュー選択などの基本操作が可能です。
- DTSデジタル音声出力をサポート。ＡＶアンプに接続すれば、高音質なDTSサウンドで動画ファイルを再生する事が出来ます。（DTSサウンドトラックが含まれているファイルに限ります。）
- MP3に加え、最新の音楽フォーマットであるWMA（Windows Media Audio）、Ogg Vorbis等を再生出来ます。
- 動画や音楽を再生途中で停止させても、次回にその停止した同じ場所から引き続き再生が出来ます。ーレジューム機能
- オーサリングしたDVDビデオをフォルダ構成もそのままにコピーすれば、そのDVDビデオのメニューに対応した再生が可能です。ーDVDナビゲーション機能
- プログレッシブスキャンサポートでより鮮明な画質を楽しめます。さらに720P/1080Piのアップスケーリング出力によりHDTVにおいても最高の画質を楽しめます。

1.2 USB ストレージ

- USB 1.1/2.0 インタフェースをサポート。外付けの記憶装置として動画、音楽、静止画などの他にオフィスで使用するドキュメントなども保存できます。
- 480Mbps（理論値）の高速データ転送が可能です。（USB 2.0での転送）
- TViXはWindows 98SE/ME/2000/XP の各OS対応ですので、デスクトップPC、ノートPCで幅広く使用出来ます。
- プラグアンドプレイをサポートしていますので、PCへの接続は自動的に認識されます。
- HDDのフォーマットはFAT32に加えNTFSをサポートしていますので、大容量HDDの使用も可能です。
- HDDの組み込みはネジを外す必要は全く無く、下部のカバーを外し、HDDを挿入し、各ケーブルをHDDに接続し、再びカバーを閉めるだけです。

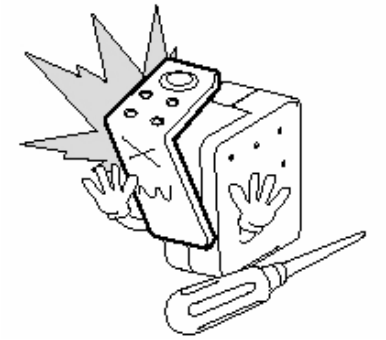
1.3　システム仕様

TViX　システム		
内容物	本体、リモコン、USB ケーブル、A/V ケーブル、電源ケーブル、取扱説明書（本書）	
ファイル フォーマット	ビデオ	DivX 3.11/4.x/5.x ， XviD, AVI, MPG, VOB
	オーディオ	MP3, WMA, Ogg Vorbis, マルチチャンネルデジタルオーディオ
	静止画	JPEG
ビデオ出力	S-Video 端子, Composite ,HD Component （プログレッシブモード対応）	
オーディオ出力	デジタル 5.1 チャンネル, アナログ 2 チャンネル	
インタフェース	USB2.0	
転送速度	480Mbps（理論値）	
OS	Windows98SE/ ME/ 2000/ XP 以上	
ファイルシステム	NTFS, FAT32	
外寸	122.5 x 171.8 x 68.5 mm	
重量	本体 600g（HDD 無し） 1.2Kg （HDD 搭載時）	
電源	内蔵（アダプタ不要）, Free Volt(AC90-250V~50/60Hz)	

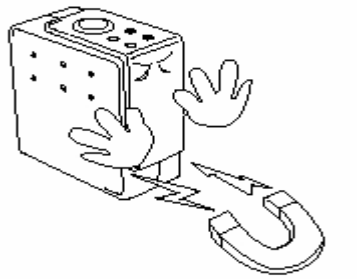
2　注意

2.1　安全のために

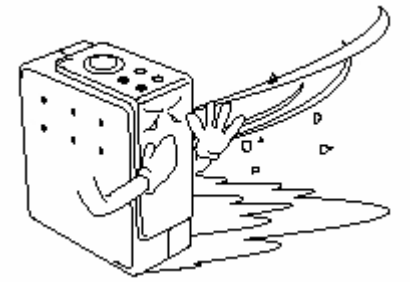
本体を分解しないで下さい。故障や発火の原因となります。



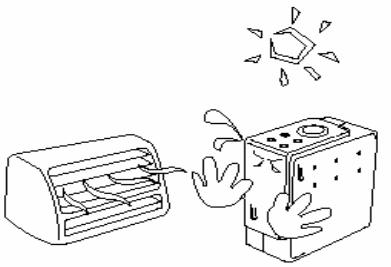
磁気製品はHDDのデータを消してしまう可能性があります。TViXに磁気製品を近づけないで下さい。



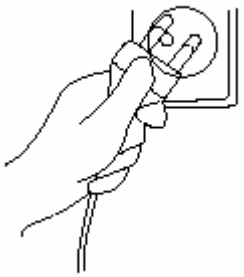
油、煙、湿気、埃の多い場所に置かないで下さい。



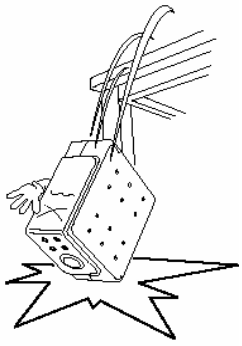
熱源や炎の傍に置かないで下さい。



電源プラグには濡れた手で触らないで下さい。また不具合のある電源コードを使用しないで下さい。感電や発火の原因となります。



落下や強い衝撃はHDDの致命的な不具合の原因になります。



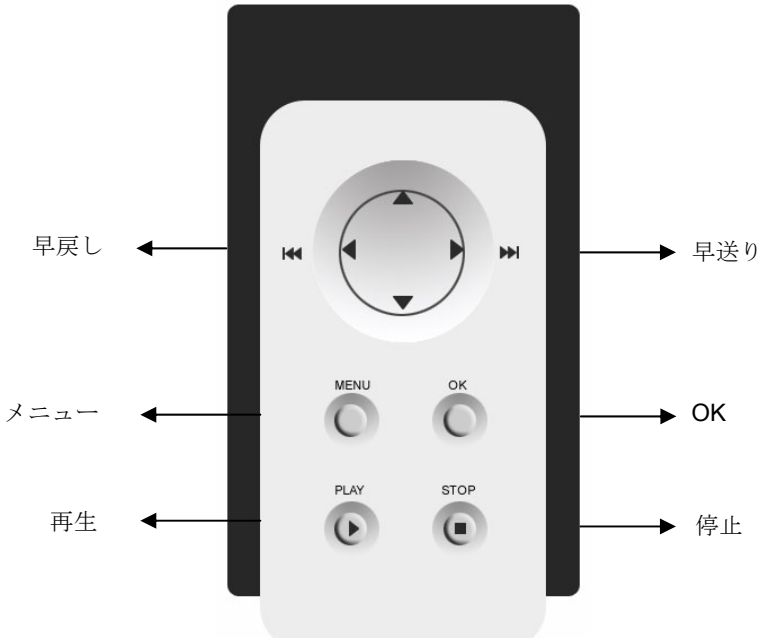
2.2　注意

- USBケーブルが接続されている場合はUSBハードディスクとして動作する為、マルチメディアプレイヤーとしては動作しません。
- USBハードディスクとして使用する際は電源を入れる前にUSBケーブルを接続して下さい。
- 新品のHDDを使用する場合はパーティションの作成とフォーマットが行われている事を確認してください。またHDDのジャンパ設定は「Master」モードに設定して下さい。
- 本体を掃除する時は電源コードを抜いて下さい。
- TViX内部のHDDを交換する時はHDDが十分に冷えるのを待ってから作業を行って下さい。 使用中のTViX内部のHDDは非常に高温になっており、使用直後に触れると非常に危険です。
- Windows98SE ユーザの方へ ：
  USBストレージ機器としてPCにTViXを接続する場合はウェブサイト(www.gate.jp/products/support/support.php)にあるドライバをインストール必要があります。Windows ME/2000/XP にはUSB HDD接続用のドライバが含まれていますので、このドライバソフトをインストールする必要はありません。

3　各部名称

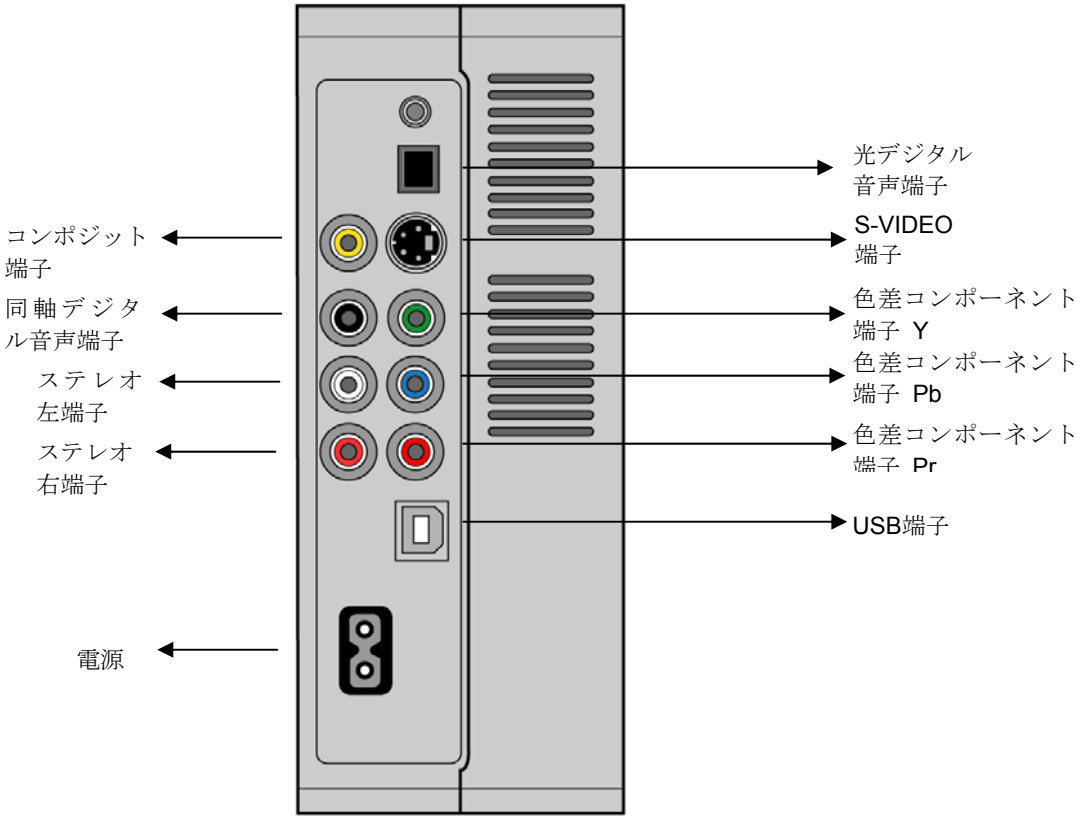
3.1　本体上部

基本操作はリモコンを使用せずに出来ます。

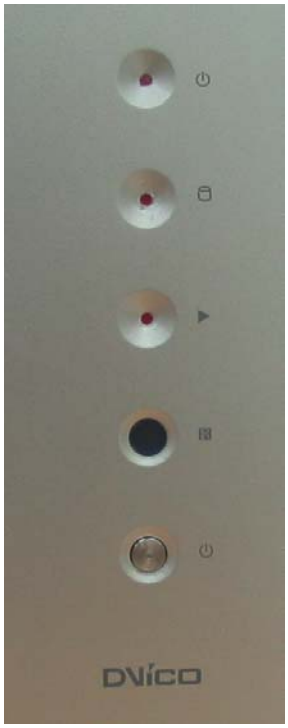


3.2　本体背面

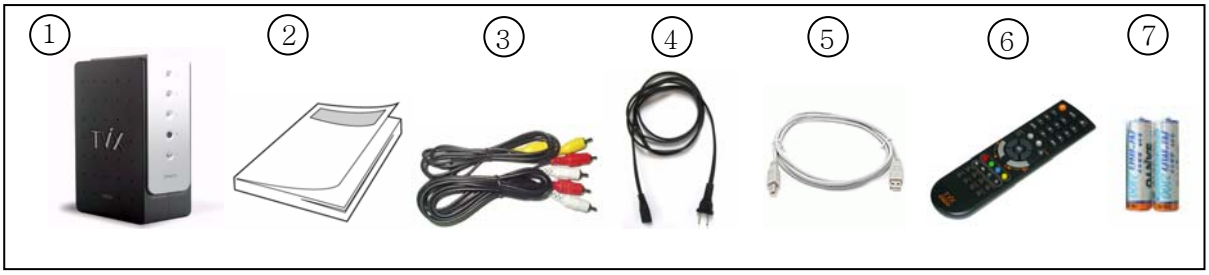
TV又はデジタルデコーダ/アンプへは正しい端子で接続してください。



3.3　本体前面



3.4　パッケージ内容物



①TViX 本体

② 取扱説明書（本書）

③ A/V ケーブル

④ 電源ケーブル

⑤ USB ケーブル

⑥ TViX リモコン

⑦ 単4電池 X2本

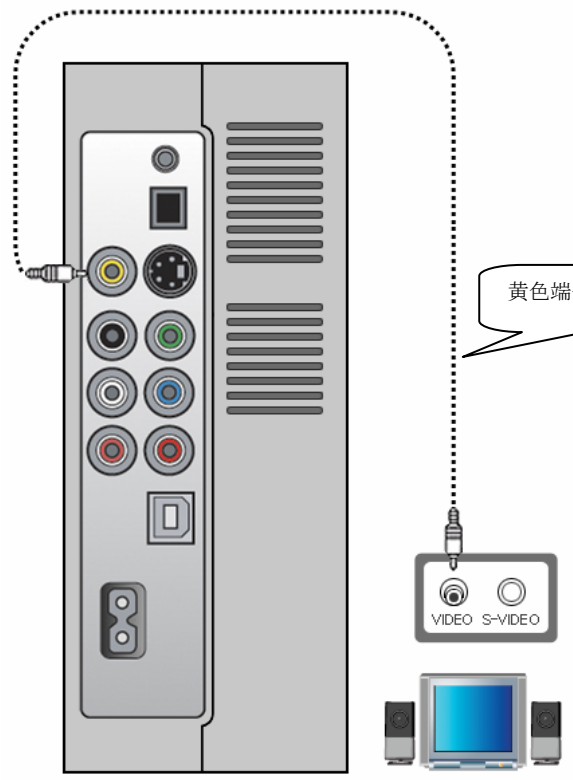
⑧ 保証書

※ハードディスクドライブ，S-Videoケーブル,コンポーネントケーブル，光学デジタルケーブル，同軸デジタルケーブルは含まれておりません。

4 接続

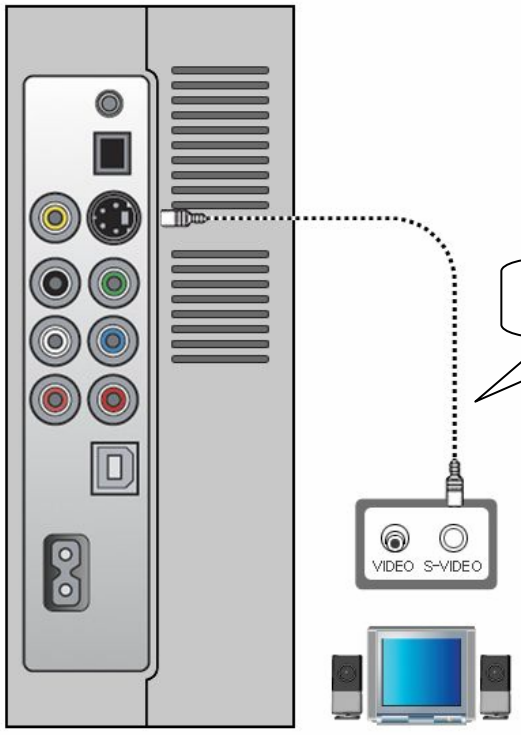
4.1 ビデオ出力接続

4.1.1 通常のTVへの接続



コンポジットケーブル（黄色い端子のケーブル）をTVの前面又は背面にある同色の端子に接続します。
TVを点けた後、ビデオモードへ入力切替を行います。
多種の接続方式に対応していますので、
お使いのTVに合った方式を選んでください。
もしお使いのTVにコンポジット端子（黄色い端子）が無い場合はRFモジュラーと言う機器を接続する必要があります。その際は最寄のショップにご相談下さい。

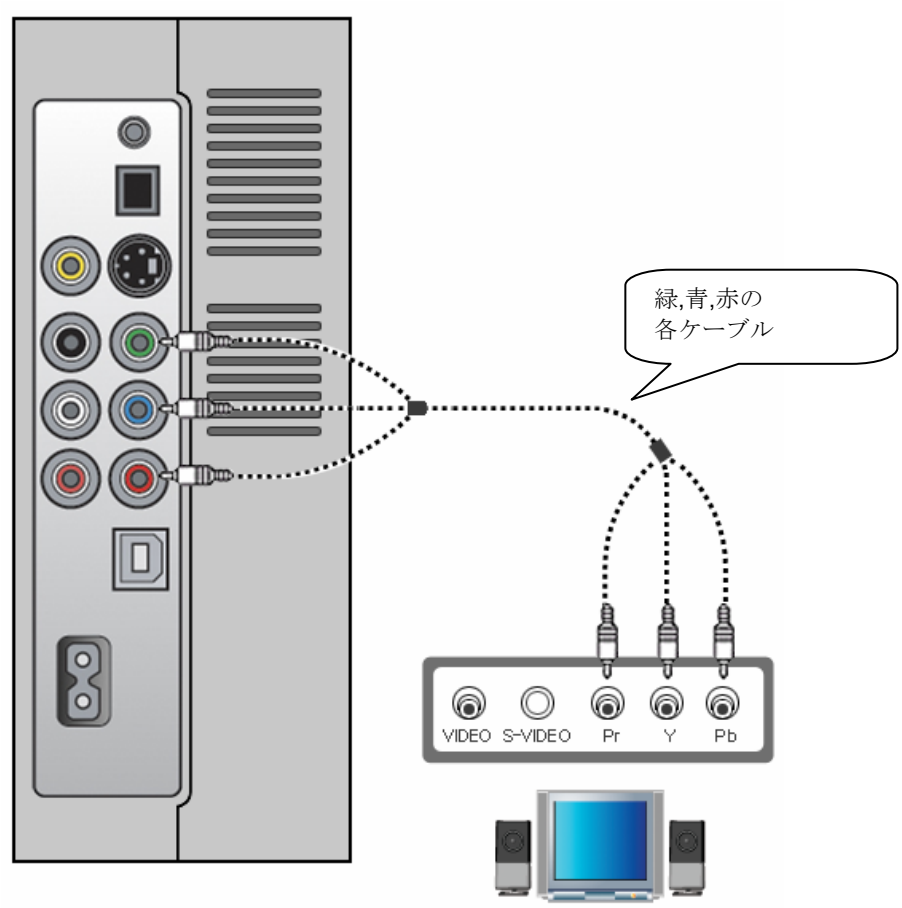
4.1.2 S-VIDEO出力での接続



S-VideoケーブルをTViXのS-Video出力端子とTVのS-Video入力端子へ接続します。

(S-Videoケーブルは別売りです。本製品には含まれておりません。)

4.1.3 色差コンポーネント出力での接続

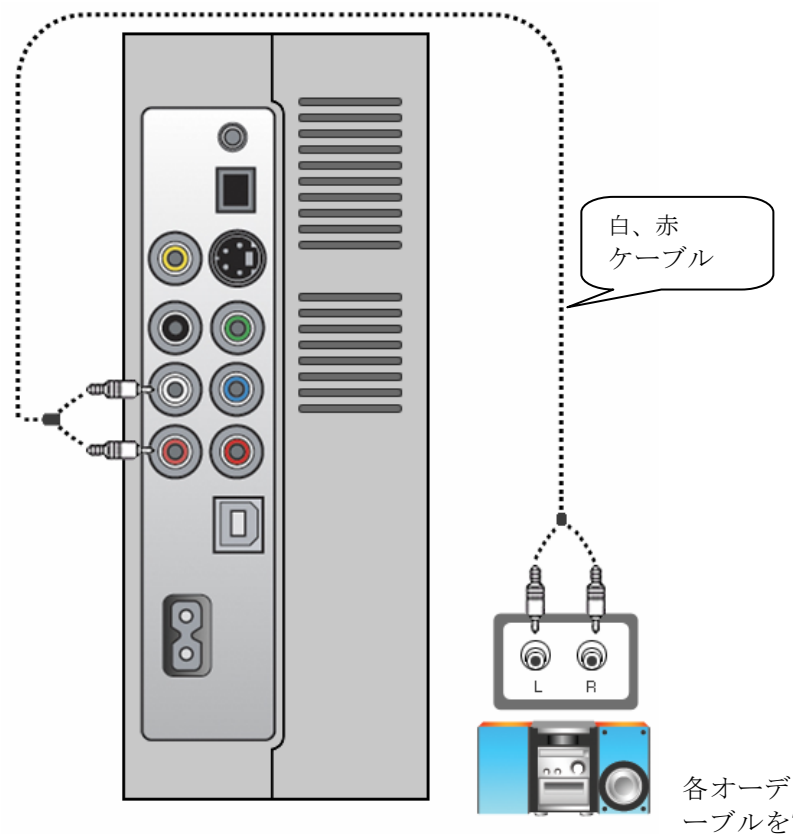


各色差コンポーネントケーブルY(緑), Pb(青), Pr(赤) をお使いのプラズマTVや液晶TVの背面の同じ色の端子に接続します。接続後にTViXのセットアップメニューで各TVの映像出力設定に1080i, 720P, 480Pの中から設定を合わせます。

※ 色差コンポーネントケーブルは別売りです。本製品には含まれておりません。.

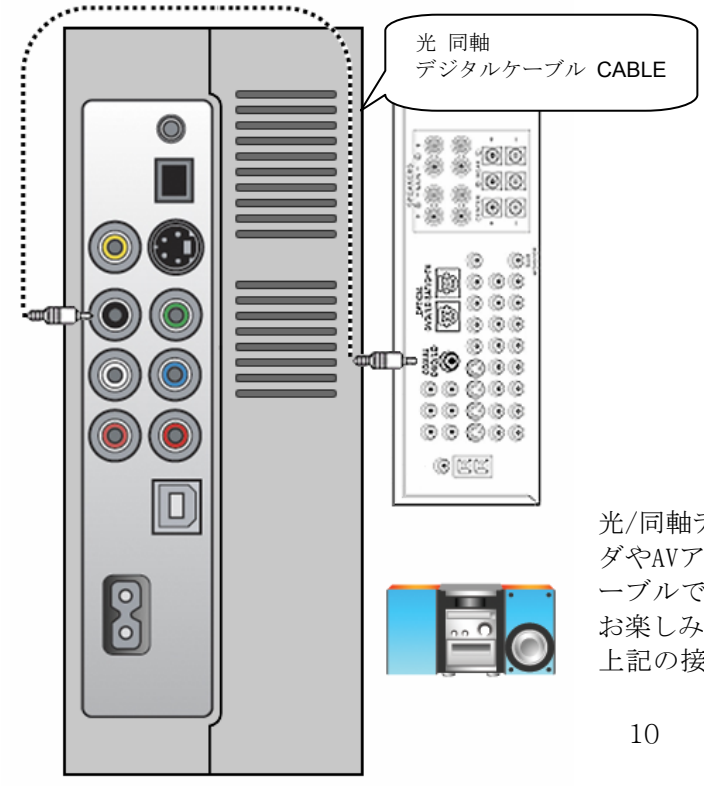
4.2　オーディオ出力接続

4.2.1 通常のTV（オーディオ２チャンネル）への接続



各オーディオ出力端子に左（白）、右（赤）のケーブルをTVやステレオの各端子に正しく接続します。

4.2.2 5.1チャンネルデジタルアンプへの接続



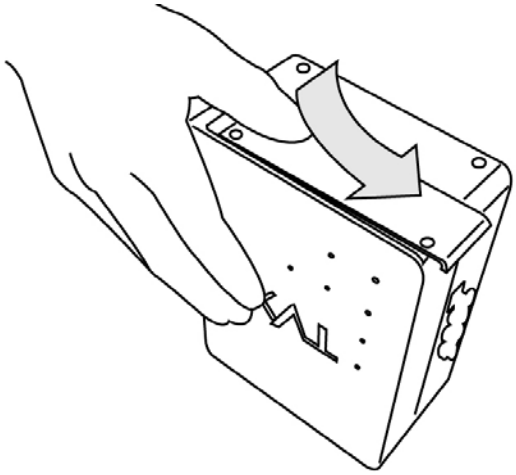
光/同軸デジタル入力端子のあるマルチチャンネルデコーダやAVアンプをお持ちの場合はTViXを光/同軸デジタルケーブルで接続する事で高品質5.1 チャンネルサウンドをお楽しみになれます。
上記の接続方法は同軸デジタルケーブルの場合のもので

す。光デジタルケーブルでも同様の方法で接続出来ます。
（光/同軸デジタルの各ケーブルは別売りです。本製品には含まれておりません。）

4.3　ハードディスクの組み込み

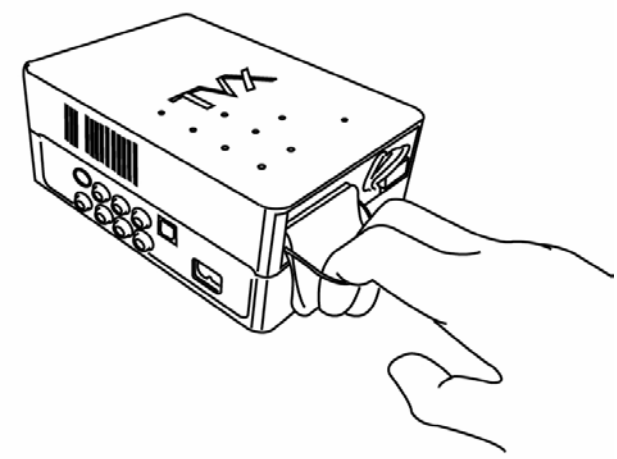
TViXに新しいHDDを組み込む時、又は内部のHDDを交換する時は、下記の手順に従って下さい。

① 下の図のようにTViXの本体下部のカバーをスライドして外します。

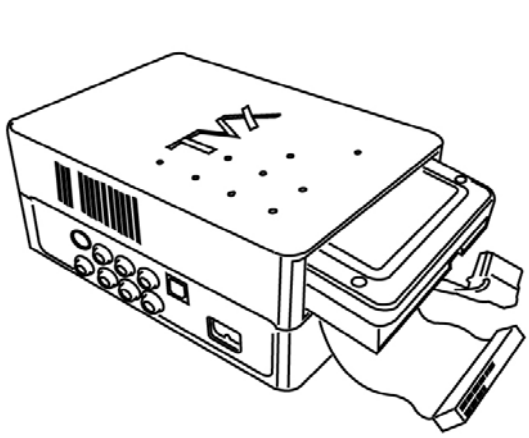


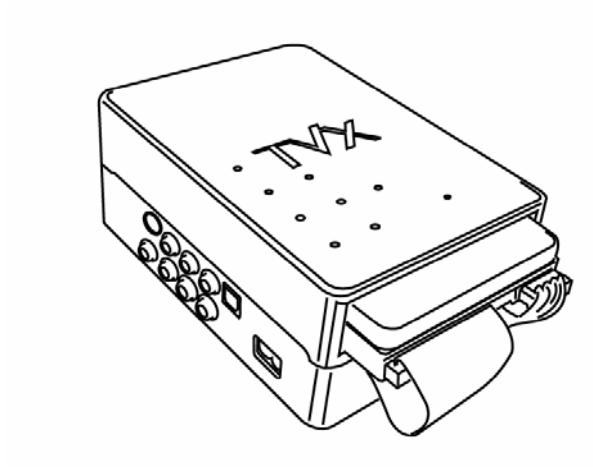
② 黒いプラスチックの紐の部分を持ってIDEケーブルを外し、そして電源ケーブルを外します。

注意 ： 内部のHDDが十分に冷えるまで待って作業を行ってください。

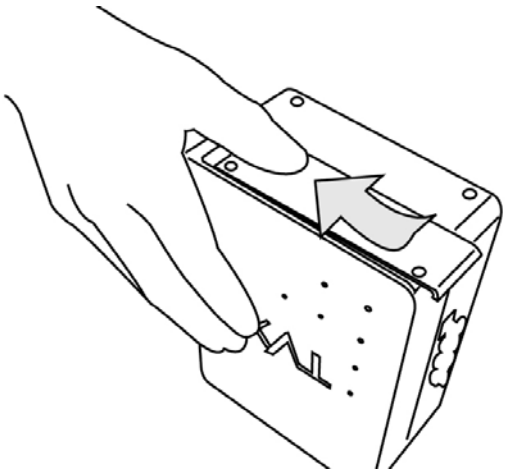


③ 新しいHDDを差込みIDEケーブルと電源ケーブルを接続します。正しく動作させるにはHDDのジャンパ設定は「Master」にしてください。HDDを「Master」に設定する方法は通常HDDの上面カバーに表記されています。





④　ケーブルを格納し、外した下部カバーをスライドして再度装着してください。



5 TViX セットアップメニューの設定

5.1 オーディオ/ビデオ設定

●オーディオ出力

アナログ
ステレオRCAケーブルでオーディオ端子に接続をしている時はこのモードを選んでください。デジタル音声をアナログ音声に変換して出力します。

デジタル
デコーダやアンプへ光デジタルケーブルか同軸デジタルケーブルでデジタル接続している時はこのモードを選んでください。TViXのアナログオーディオ端子からはアナログオーディオ信号は出力されません。

●HDコンポーネント出力

ビデオ出力端子を色差コンポーネントケーブル（YPbPr）で接続している時はこのモードを選んでください。出力解像度と画像サイズを設定出来ます。1080iの設定であれば、HDTVに対応します。

●TV出力

TViXのデフォルトTV出力設定はコンポジット(NTSC/S-VIDEO 又は PAL C/S-VIDEO)になっており、どのTVでも対応出来る最も一般的な設定です。

NTSC C/YPbPrとPAL C/YPbPrを選択した場合はコンポーネント端子より出力します。

480P/720P/1080i 出力の場合はこの設定をする必要はありません。HDコンポーネント出力メニューで必要な設定を行ってください。

注 ：
TViX本体が正常に動作しているように見えるにもかかわらず、画面が見えない場合、画面出力設定が適切でない可能性があります。その際には画面が正常に見えるようになるまで、リモコンの<TV OUT>ボタンを繰り

返し押してください。

* **TV タイプ:**

4:3 レターボックス/4:3 Pan&Scan ： 通常のTV用設定.

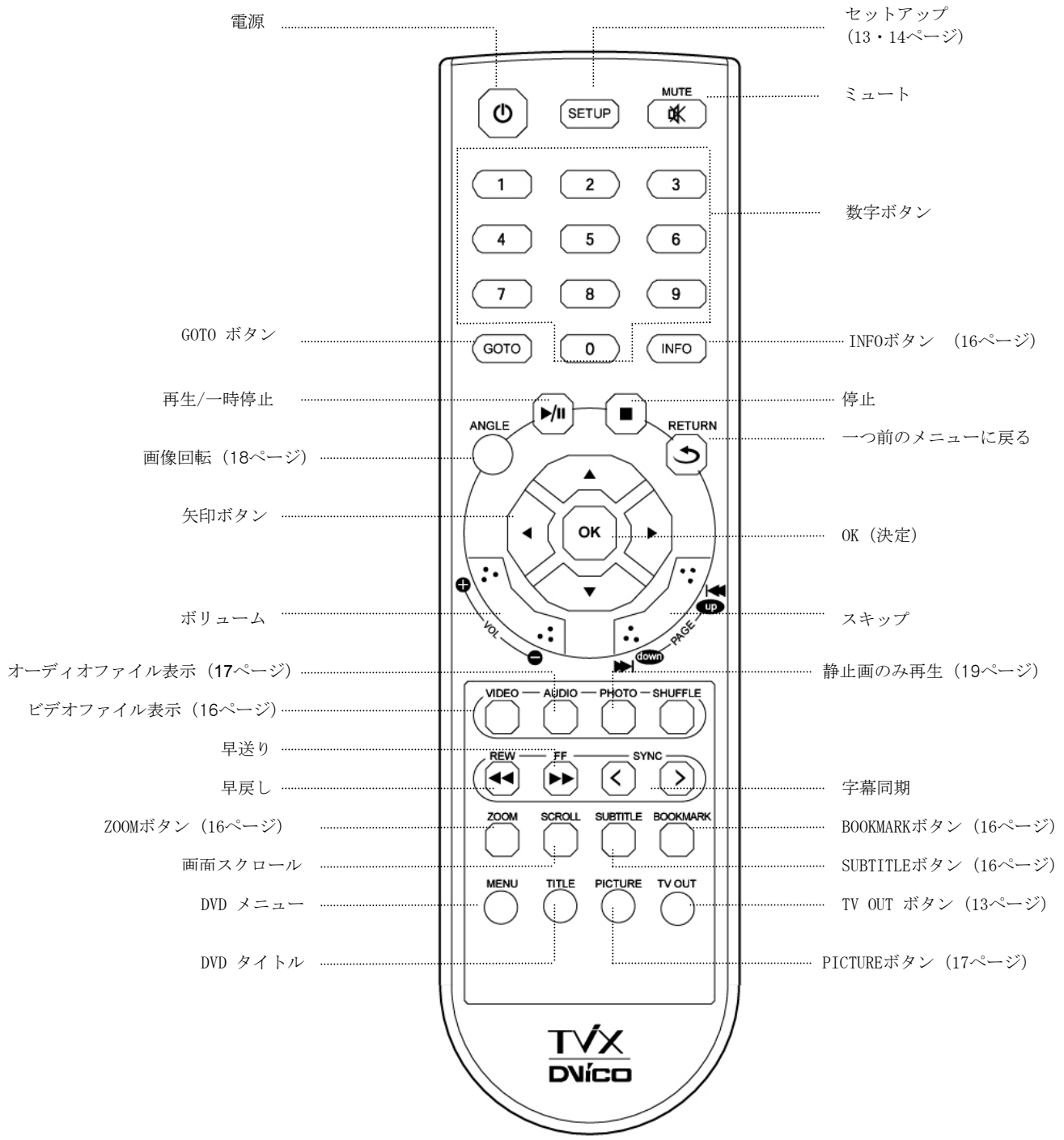
16:9 ：HDTV や プラズマTV用設定

5.2 その他の設定

* スライドショー間隔: スライドショーの間隔を設定出来ます。（1 – 10秒）
* 字幕フォントサイズ: 字幕文字の大きさの大小を設定出来ます。
* 字幕/輪郭: 字幕文字とその輪郭の色を変更出来ます。
* 言語選択: お好みの言語を選択出来ます。英語、日本語に対応しています。
* ファームウェアバージョン: 現在、インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

6　リモコンの使用

6.1　リモコンの基本機能



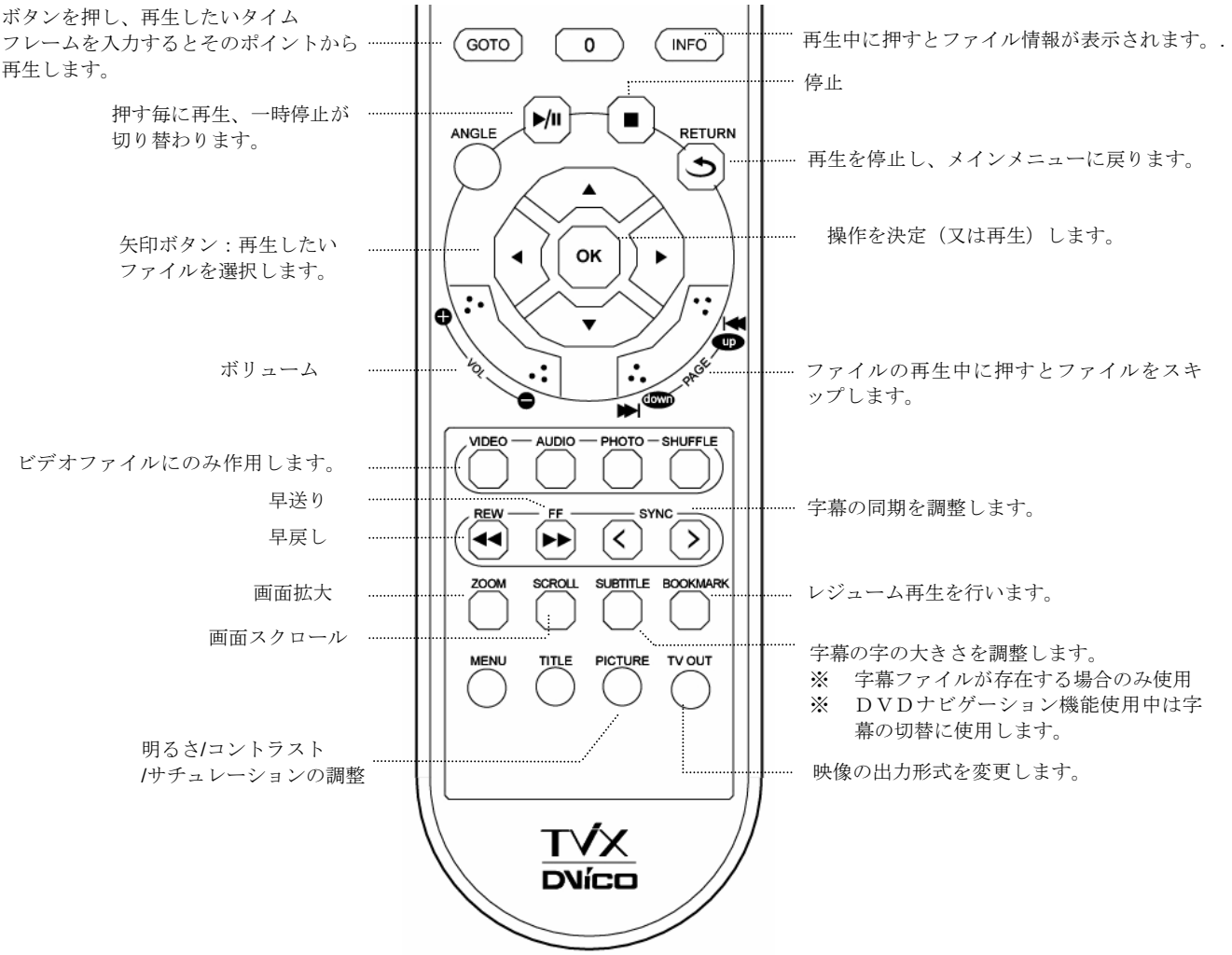
〈電池の交換〉

- 新しい単4電池を使用してください。（単4電池は製品に含まれています。）

6.2　リモコンでの操作

6.2.1 ビデオファイルの再生

リモコンのビデオボタンを押す事で、HDDに記録されたビデオファイルのみ選択され表示されます。



〈記〉

- INFO ボタン ： 押す毎に下記のようにステータスが変わります。
    - 一度目 － ファイル情報を表示します。
    - 二度目 － ファイル再生時の経過時間を表示します。
    - 三度目 － ファイル情報を非表示に戻します。

- SUBTITLEボタン ： 押す毎に下記のようにステータスが変わります。
  （別途、字幕ファイルがある場合のみ動作します。）
    - 一度目 － 大きいフォントで字幕を表示します。
    - 二度目 － 小さいフォントで字幕を表示します。
    - 三度目- 字幕を非表示にします。

- BOOKMARKボタン ： 押すと直近まで再生していたファイルの停止部分から再度再生を行います。

- ZOOMボタン ： 押す毎に下記のようにステータスが変わります。
    - 一度目 － 拡大。矢印ボタンを押す事で画像の大きさを変更出来ます。
    - 二度目 － フルスクリーン表示します。

- 三度目 - PAN又はSCANモードでフルスクリーン表示します。
- 四度目 - 元に戻ります。

- PICTUREボタン
  - 押す毎に「明るさ」→「コントラスト」→「サチュレーション」の順番で調整項目が変わります。
  - 上記各項目では矢印ボタンで状態の調節が出来ます。

- TV OUTボタン: 押す毎に下記のようにステータスが変わります。
  - NTSC コンポジット/SVIDEO
  - NTSC コンポジット/YPbPr(480i)
  - PAL コンポジット/SVIDEO
  - PAL コンポジット/YPbPr(576i)
  - YPbPr (480p) (コンポジット出力無し)
  - YPbPr (720p) (コンポジット出力無し)
  - YPbPr (1080i) (コンポジット出力無し)

6.2.2 DVDナビゲーション機能

オーサリングされたDVDビデオをそのオーサリングメニューにそった形で再生が可能です。
手順は下記の通りです。

1．TViXをPCに接続し、再生したいタイトルをDVDビデオと同様にフォルダ構成を崩さすに、TViXにコピーし、TViXをPCから切り離します。
2．TVに接続し、メインメニューからコピーしたデータ（フォルダ）を選びます。
3．PLAYボタン（再生/一時停止）を押します。※ここではOKボタンではなくて、必ず、PLAYボタンを押してください。OKボタンを押すと1階層下のフォルダへ移動してしまいます。
4．再生が始まり、DVDのメニュー画面が表示され、DVDビデオを見る感覚で操作が出来ます。

6.2.3 プレイリスト機能（ビデオ・オーディオ・イメージファイル共通）

プレイリストを作成し、お好みのファイルのみを再生・表示させる事が出来ます。

・プレイリストの作成
1．メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2．ファイルの選択画面になりますので、リストに加えたいファイルを選択し、OKボタンを押します。
3．ファイルがリストに加えられるとファイルの冒頭に「V」マークが付きます。（外したい時はそのファイルにカーソルを合わせ再度、OKボタンを押し、「V」マークを外します。）

・プレイリストの再生
1．メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2．メインメニュー左下のメニューから、「再生」を選択し、OKボタンを押します。

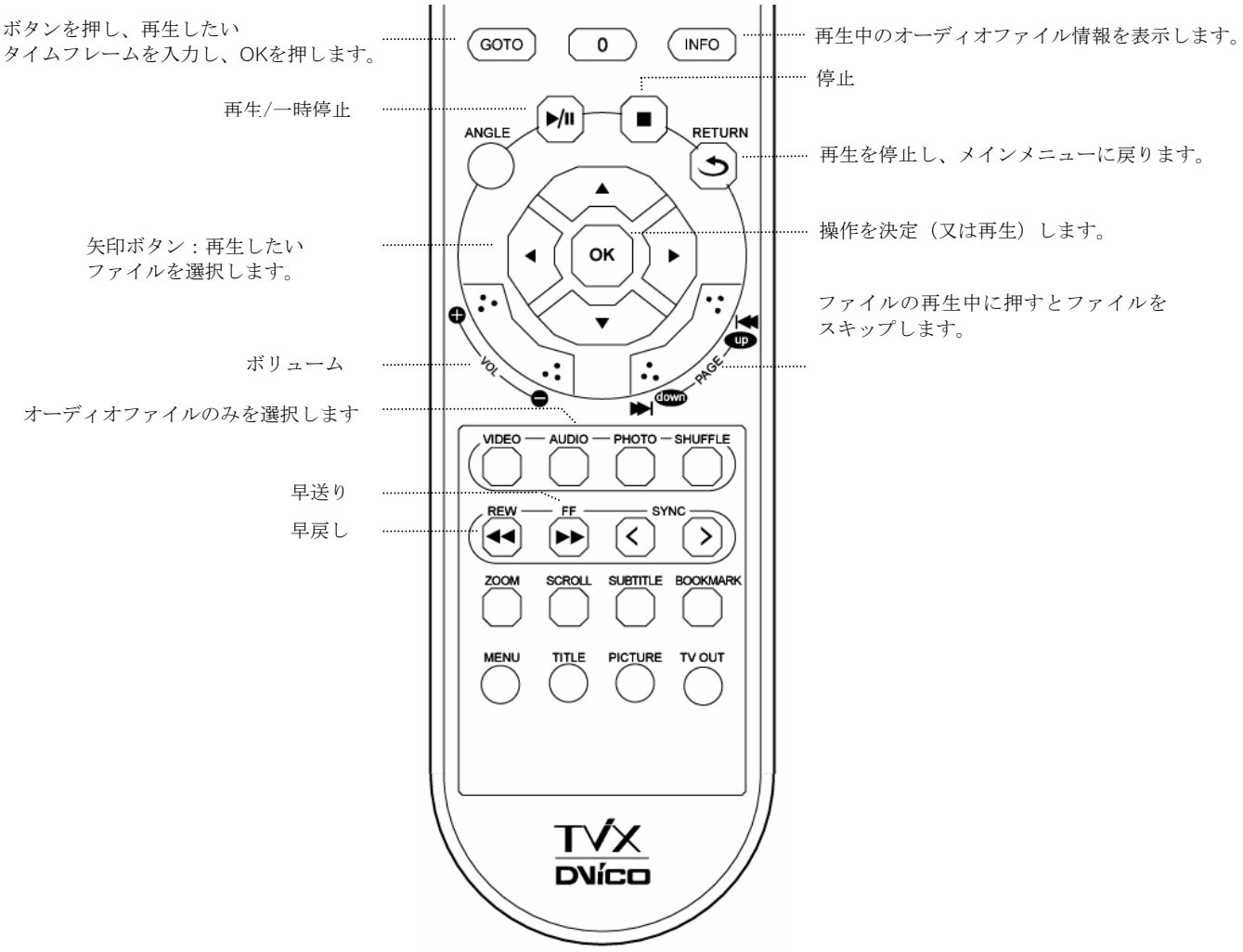
・プレイリストのランダム再生
1．メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2．メインメニュー左下のメニューから、「ランダムで再生」を選択し、OKボタンを押します。

・プレイリストの全削除
1．メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2．インメニュー左下のメニューから、「全て削除」を選択し、OKボタンを押します。

・プレイリストの編集
1．メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2．メインメニュー左下のメニューから、「プレイリストの編集」を選択し、OKボタンを押します。
3．ファイルの選択画面になり、編集が可能になります。

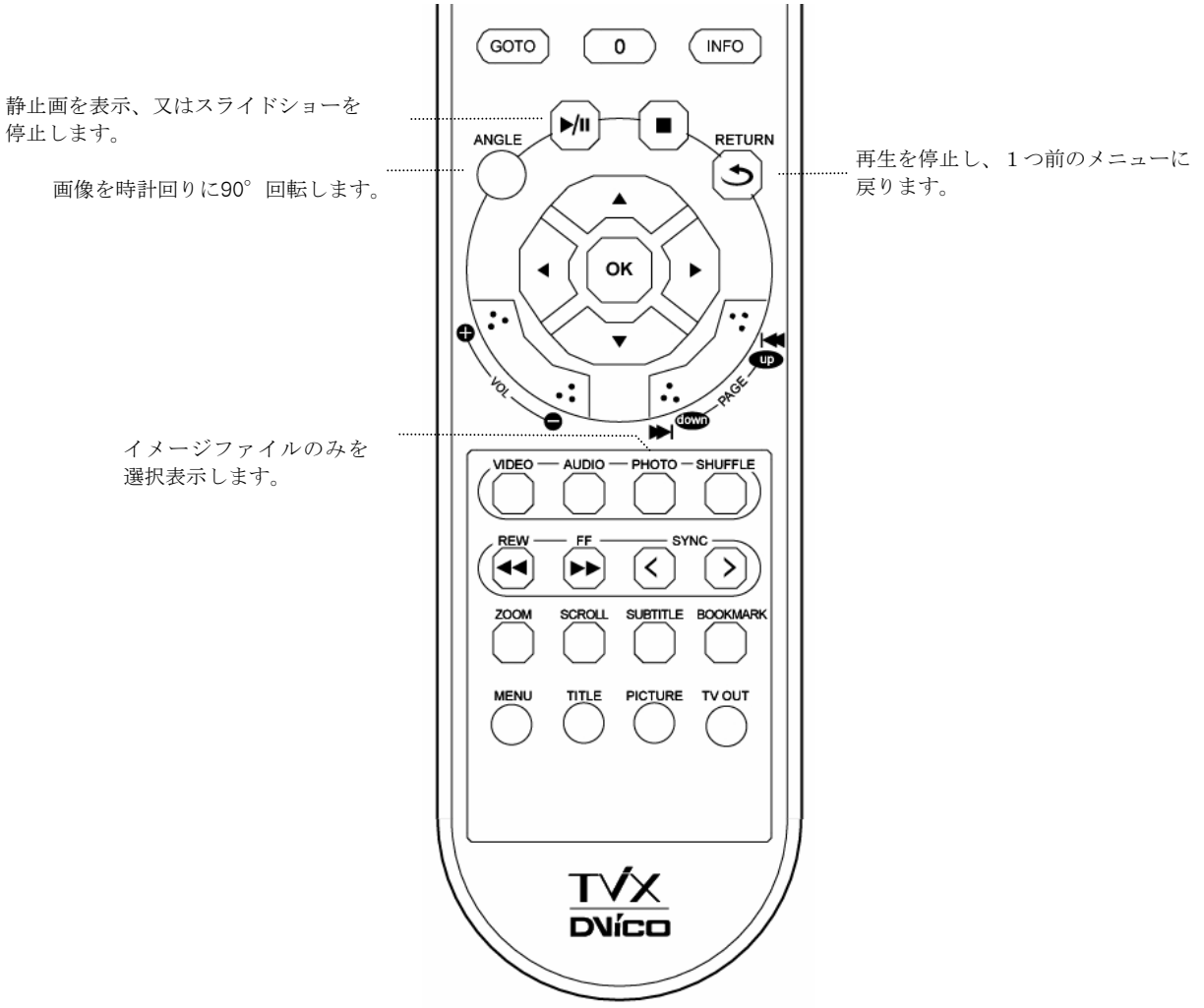
6.2.4 オーディオファイルの再生

リモコンのオーディオボタンを押すとHDD内部のオーディオファイルのみが選択され、表示されます。
1つ以上のパーティションがある場合は、現在、選択しているパーティションに対してのみ適用されます。



6.2.5 イメージファイルの再生

リモコンのオーディオボタンを押すとHDD内部のイメージファイルのみが選択され、表示されます。
1つ以上のパーティションがある場合は、現在、選択しているパーティションに対してのみ適用されます。



〈記〉

- SETUPメニューからスライドショーの再生間隔を設定出来ます。
- 標準に基づいていないJPEGファイルは再生出来ない可能性があります。

7　ファームウェアアップグレード

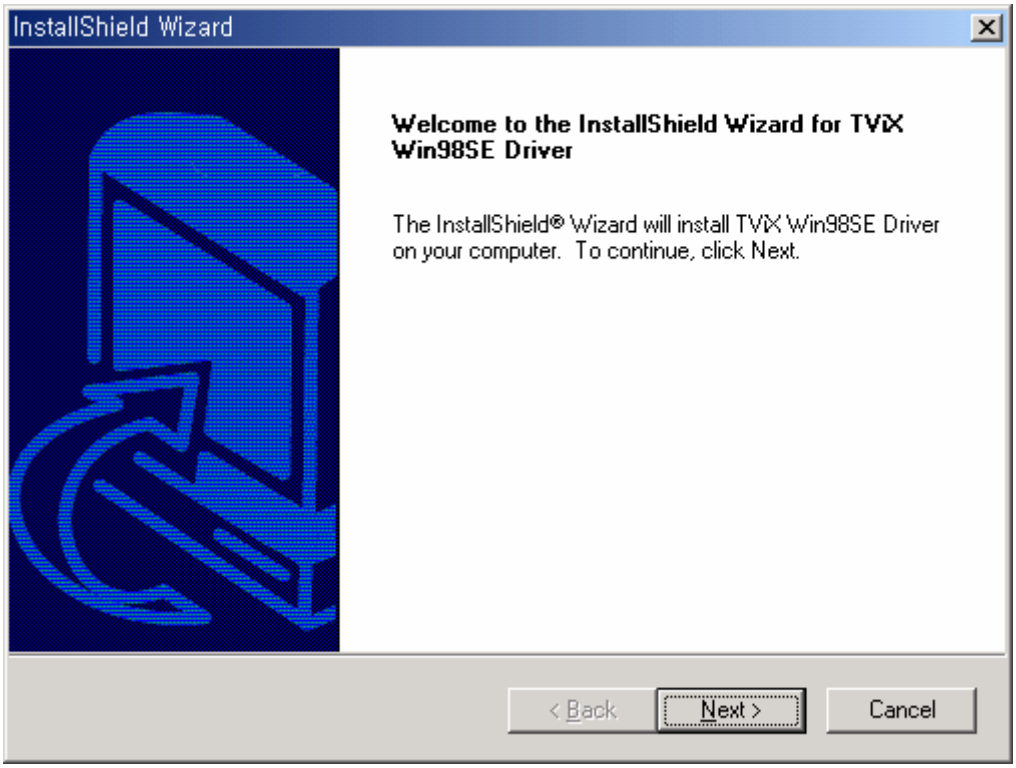
TViX はファームウェアアップグレードにより更なる機能の充実とバグフィックスに対応します。
最新のファームウェアのダウンロードについては下記ウェブサイトをご参照下さい。
http://www.gate.jp/products/support/support.php

8 PCとのUSB接続

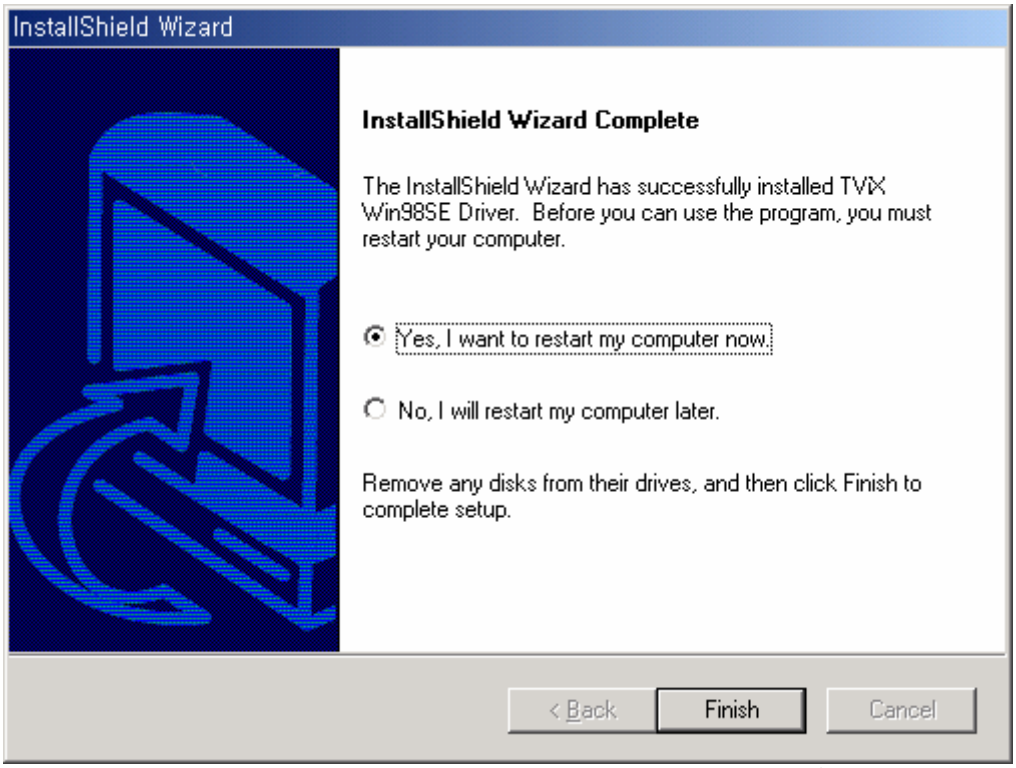
8.1 Windows 98SE へのドライバインストール

1) 最初に下記ゲートサポートページからドライバインストーラをダウンロードしてください。
http://www.gate.jp/products/support/support.php ファイル名：TViX_Win98SE_Driver.exe

2) TViXを接続する前にダウンロードした”TViX_Win98SE_Driver.exe”を実行してください。
下記の画面が出たら“次へ”をクリックしてください。


InstallShield Wizard
Welcome to the InstallShield Wizard for TVIX Win98SE Driver
The InstallShield® Wizard will install TVIX Win98SE Driver on your computer. To continue, click Next.
< Back
Next >
Cancel

3) “Finish” をクリックした後に再起動してください。


InstallShield Wizard
InstallShield Wizard Complete
The InstallShield Wizard has successfully installed TVIX Win98SE Driver. Before you can use the program, you must restart your computer.
Yes, I want to restart my computer now.
No, I will restart my computer later.
Remove any disks from their drives, and then click Finish to complete setup.
< Back
Finish
Cancel

4) 再起動後に、TViXを接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に現れます。

※　必ずＵＳＢケーブルを接続してからTViXの電源スイッチを入れて下さい。

5) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選んで「次へ」を押します。

6) 各項目のチェックをすべて外し、「次へ」を押してください。

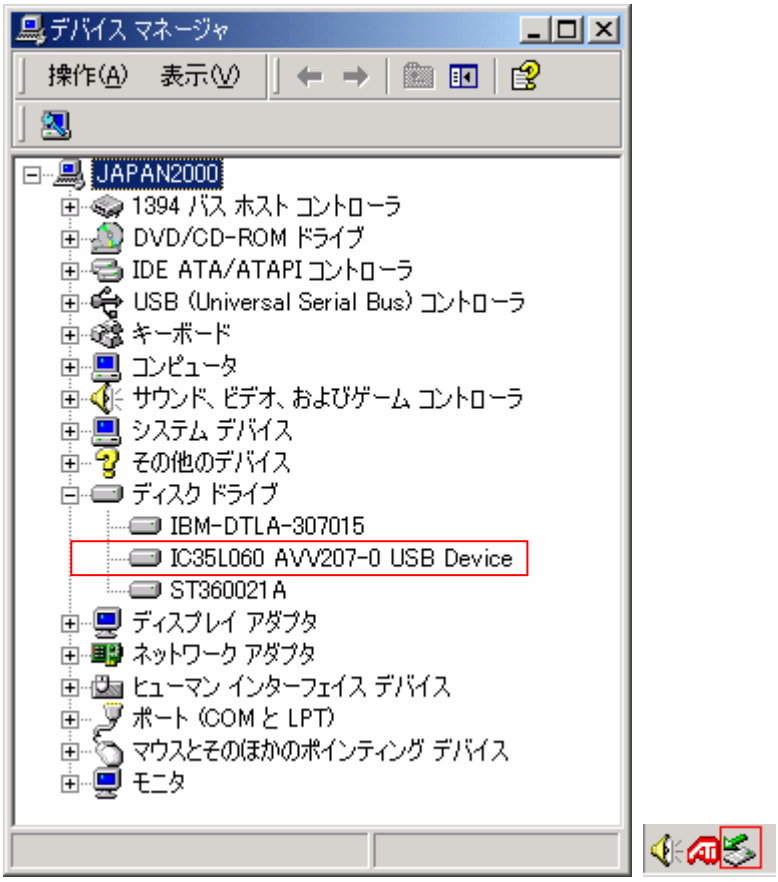
7) 下記のようにシステムによって「DVICO USB-ATA Bridge」が自動的に検出されます。「次へ」を押してください。

8) 「完了」ボタンを押すとドライバのインストールが完了します。

9) デバイスマネージャー・タブの「ディスクドライブ」項目では、TViX に内蔵されているハードディスクを確認する事ができます。

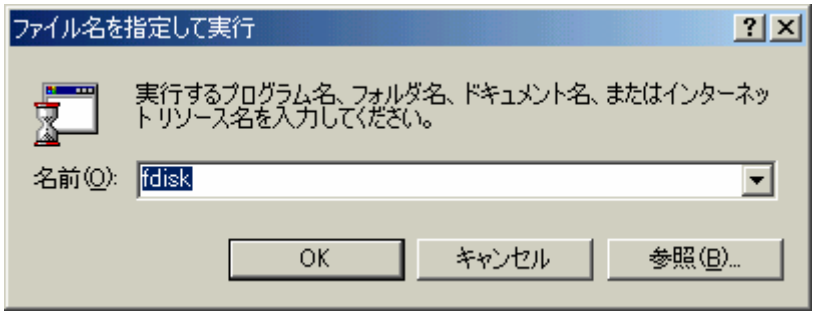
ＴＩＰ
Windows MEやWindows 2000, XPの場合はOS標準でドライバが提供されているため、ソフトウェアのインストールは必要ありません。TViXを接続するとプラグ＆プレイが実行されます。TViX が適切にインストールされている事を確認するには「マイコンピュータ」アイコンを右クリックして、「プロパティ」を選び、「システムのプロパティ」ウィンドウから「ハードウェア」タブを選んで「デバイスマネージャ」ボタンを押します。

※　必ずＵＳＢケーブルに接続してからTViXの電源スイッチを入れて下さい。

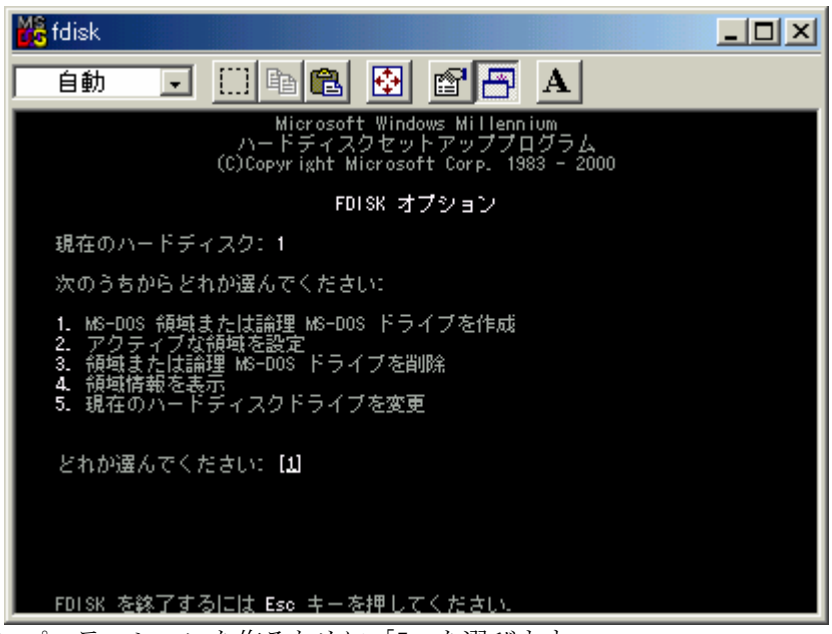


8.2　98SE/MEでのパーティション作成とHDDのフォーマット

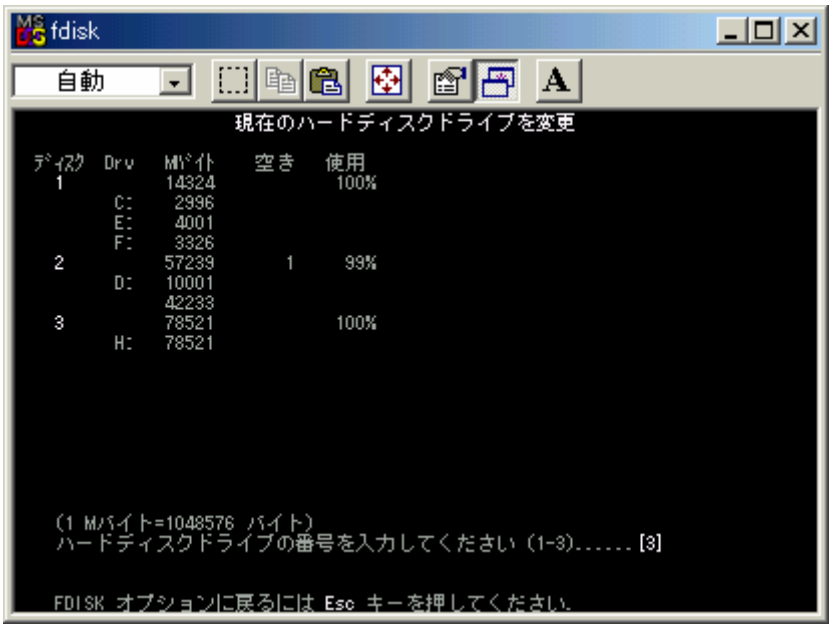
“スタート” ボタンから「ファイル名を指定して実行」を選ぶと下記のウィンドウが現れます。テキストボックスに“fdisk”と入力し、“OK”ボタンをクリックします。



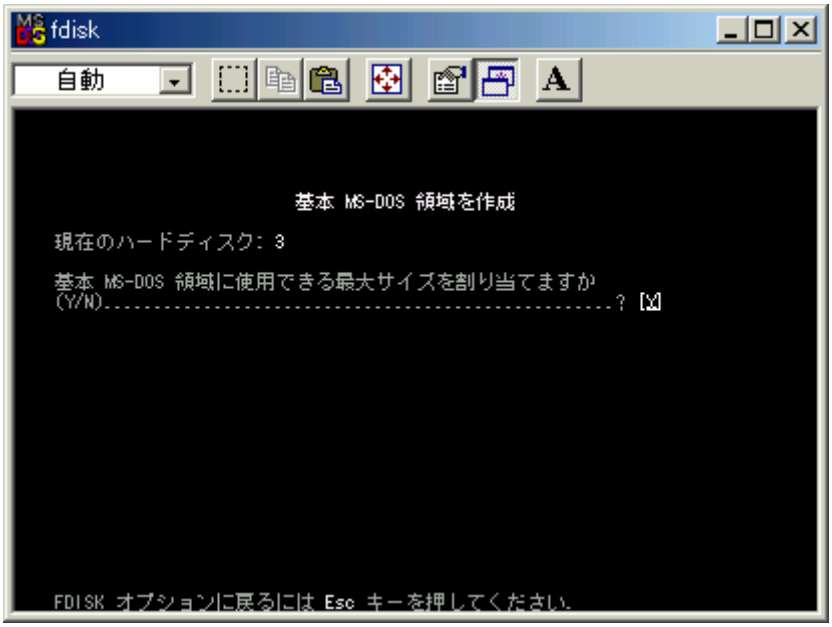
1) 下記のようなパーティションプログラムのDOSウィンドウが現れます。



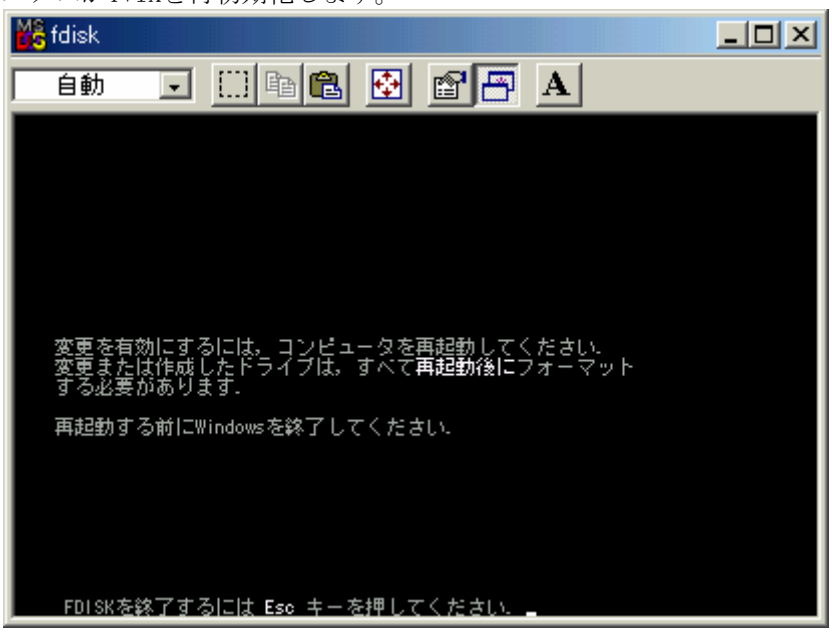
2) TViXのHDDに新しいパーティションを作るために「5」を選びます。



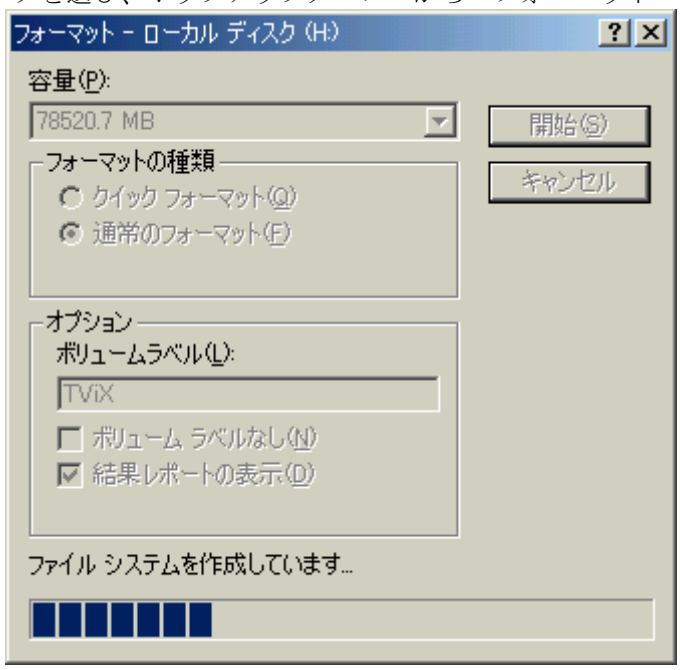
3) パーティションの種類と容量を選びます。選び終わるとパーティションの作成に入ります。



4) パーティション作成後にシステムを再起動せずにTViXの電源を一度切り、再度入れてください。
そうする事でシステムがTViXを再初期化します。

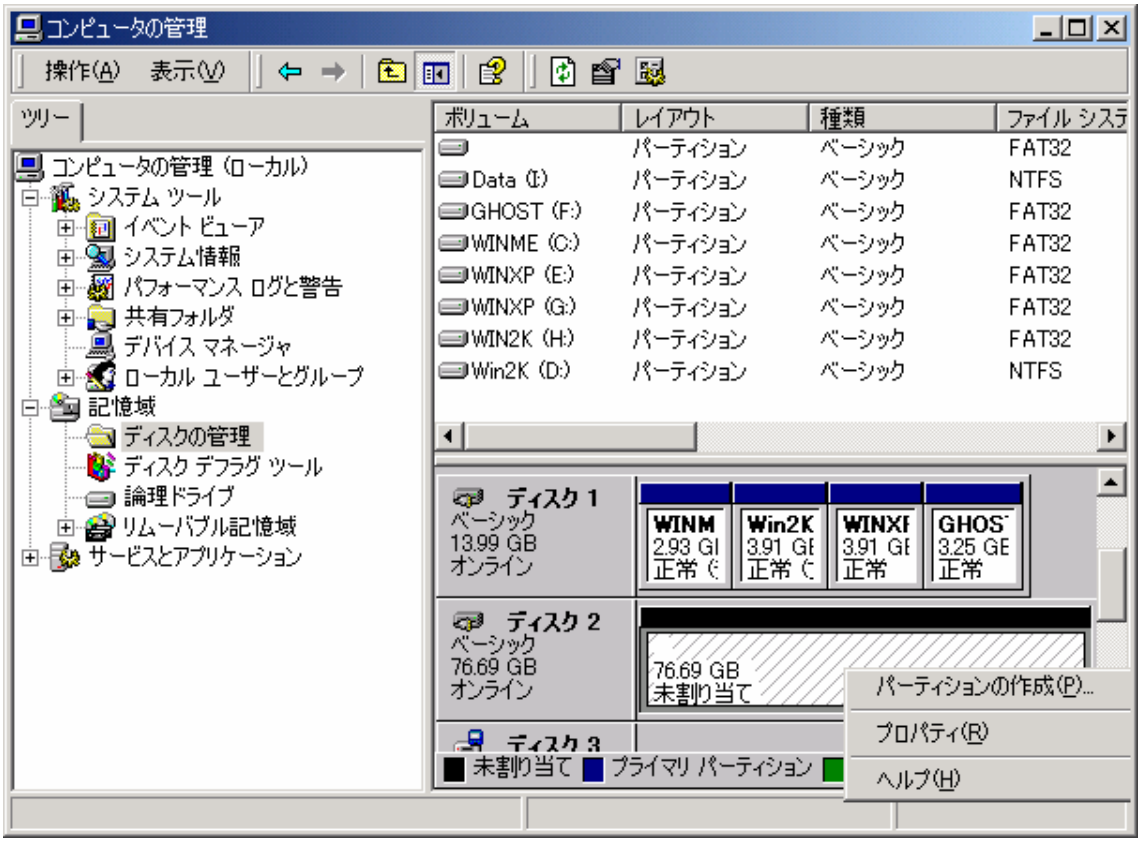


5) Windows エクスプローラを起動すると新たにディスクが作成されているのが見つかりますので、右クリックで新しいディスクを選び、ポップアップメニューから“フォーマット”を選び開始します。

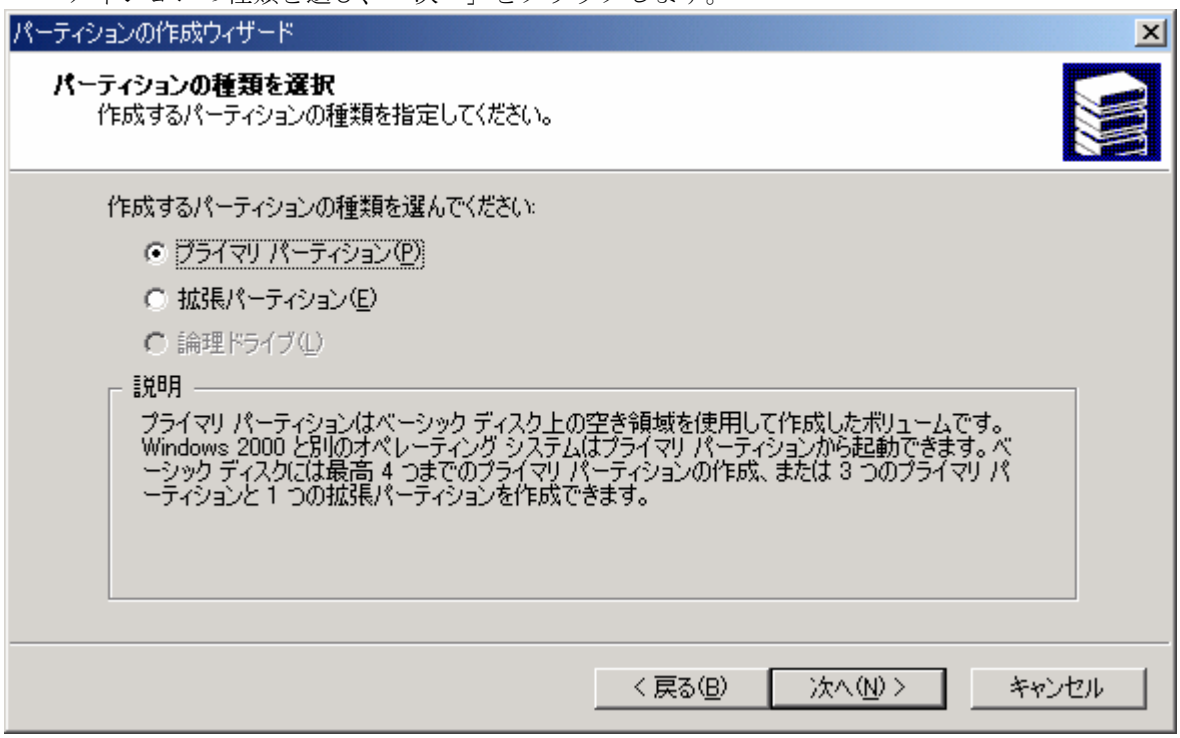


8.3　Windows 2000 / XPでのパーティション作成とHDDのフォーマット

1) Windows 2000ではディスクマネージャユーティリティーを使用し、HDDにパーティションを作成し、フォーマットが出来ます。
2)「マイコンピュータ」を右クリック→ポップアップメニューから「管理」を選ぶと「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。→ 「ディスクの管理」フォルダを選びます。
3) コンピュータの管理」ウィンドウが開き、右側にディスクのリストが表示されます。TViX のHDDを右クリックし、ポップアップメニューの中から「パーティションの作成」を選びます。



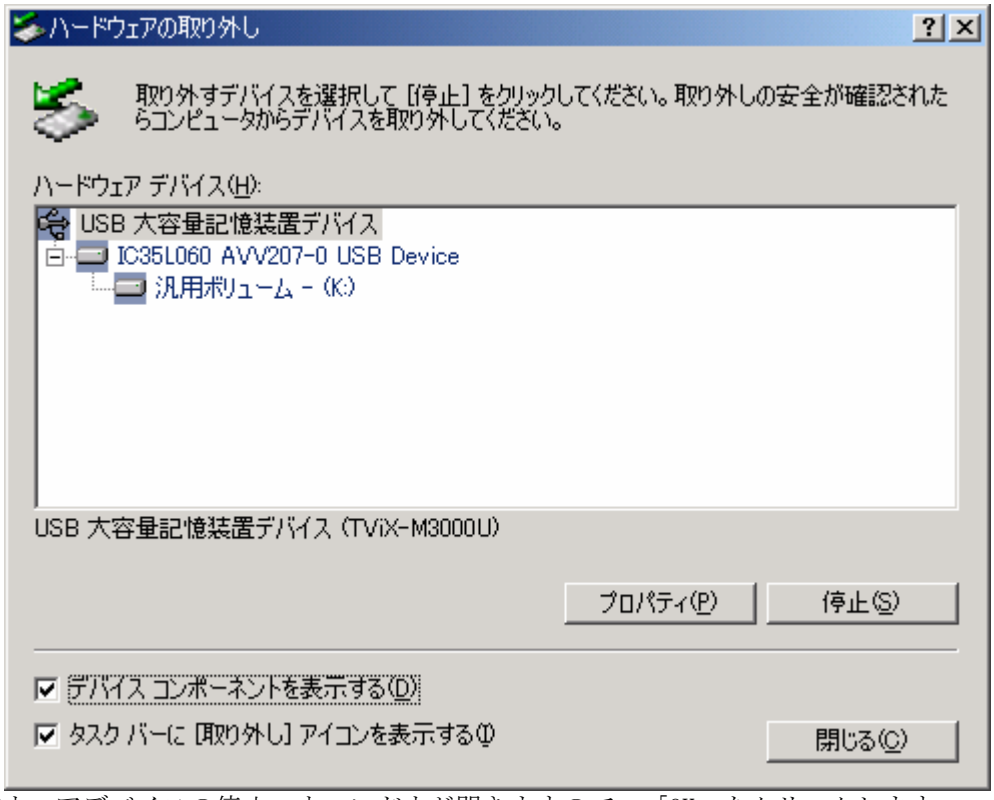
4) パーティションの種類を選び、「次へ」をクリックします。



5)　　下記のように詳細情報が表示されます。「OK」をクリックし、作業を完了します。

8.4 ハードウェアの取り外し

1) 画面右下のウィンドウトレイの ホットスワップアイコンをダブルクリックするとハードウェアの取り外しウィンドウが表示されます。取り外したいデバイスを選び、「停止」ボタンをクリックします。



2) 「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが開きますので、「OK」をクリックします。

3) 「OK」を押して、デバイスを取り外します。

9　トラブルシューティングと質問

最新情報についてはゲートサポートウェブサイト www.gate.jp/products/support/support.php をご覧下さい。